

ほうけいしゅうこうぼ 方形周溝墓について

周溝墓は弥生時代前期中頃(約2,200年前)から古墳時代に造られたお墓です。周囲に溝を方形または円形に巡らし、溝の内側に盛土をして、埋葬します。盛土部分は後世の耕作等で削られ、溝のみが残されることが多いです。

中原遺跡では、17基もの方形周溝墓が発見されました。いずれも弥生時代後期に造られており、この時期の周溝墓の発見はハヶ岳南麓において2例目です。主軸の傾きや溝の深さがそれぞれ異なり、造られた時期の差を反映している可能性があります。